
出席議員（18名）

1番	平間幸弘	君	2番	桜場政行	君
3番	吉田和夫	君	4番	秋本好則	君
5番	斎藤義勝	君	6番	平間奈緒美	君
7番	佐々木裕子	君	8番	高橋たい子	君
9番	安部俊三	君	10番	佐々木守	君
11番	広沢真	君	12番	有賀光子	君
13番	水戸義裕	君	14番	舟山彰	君
15番	白内恵美子	君	16番	我妻弘国	君
17番	星吉郎	君	18番	加藤克明	君

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

町長部局

町長	滝口茂	君
副町長	水戸敏見	君
会計管理者兼 会計課長	相原健一	君
総務課長併 選挙管理委員会書記長	武山昭彦	君
まちづくり政策課長	平間忠一	君
財政課長	宮城利郎	君
税務課長	関場孝夫	君
町民環境課長	鎌田和夫	君
健康推進課長	佐藤浩美	君
福祉課長	鈴木仁	君
子ども家庭課長	平間清志	君

農政課長 併 農業委員会事務局長	瀬戸 諭 君
商工観光課長	斎藤 英泰 君
都市建設課長	加藤 秀典 君
上下水道課長	畑山 義彦 君
槻木事務所長	奥山 秀一 君
危機管理監	小玉 敏 君
税収納対策監	佐藤 芳 君
技術管理監	関 孝志 君

教育委員会部局

教 育 長	船迫 邦則 君
教育総務課長	伊藤 良昭 君
生涯学習課長	相原 光男 君
スポーツ振興課長	石上 幸弘 君

その他の部局

代表監査委員	中山 政喜 君
--------	---------

事務局職員出席者

議会事務局長	平間 雅博
主 事	佐山 亨

議 事 日 程 (第6号)

平成27年9月17日(木曜日) 午前9時30分 開 議

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 認定第 1号 平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について
- 第 3 認定第 2号 平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 4 認定第 3号 平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 5 認定第 4号 平成26年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 6 認定第 5号 平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

- 第 7 認定第 6号 平成26年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について
- 第 8 認定第 7号 平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について
- 第 9 議発第 1号 柴田町議会会議規則の一部を改正する規則
- 第10 陳情第 3号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情
- 陳情第 4号 「安全保障関連法案」の立憲主義に関する陳情
-

本日の会議に付した事件

議事日程のとおり

午前9時30分 開 議

○議長（加藤克明君） おはようございます。

ただいまの出席議員数は18名であります。定足数に達しておりますので、議会は成立いたしました。

直ちに本日の会議を開きます。

なお、議案等の説明のため、地方自治法第121条の規定により、説明員として町長以下、関係所管課長等及び監査委員の出席を求めています。

本日の議事日程は、あらかじめお手元に配付のとおりであります。

日程に入ります。

日程第1 会議録署名議員の指名

○議長（加藤克明君） 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

本日の会議録署名議員は、会議規則第123条の規定により、議長において16番我妻弘国君、17番星吉郎君を指名いたします。

日程第2 認定第1号 平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について

日程第3 認定第2号 平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第4 認定第3号 平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第5 認定第4号 平成26年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第6 認定第5号 平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第7 認定第6号 平成26年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について

日程第8 認定第7号 平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について

○議長（加藤克明君） 日程第2、認定第1号平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について、日程第3、認定第2号平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

の認定について、日程第4、認定第3号平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第5、認定第4号平成26年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第6、認定第5号平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第7、認定第6号平成26年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、日程第8、認定第7号平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について、以上7件を一括議題といたします。

認定第1号から認定第7号までは決算審査特別委員会に審査を付託しておりましたので、水戸義裕委員長から審査結果の報告を求めます。委員長、水戸義裕君の登壇を許します。

〔決算審査特別委員会委員長 登壇〕

○決算審査特別委員会委員長（水戸義裕君） おはようございます。

決算審査特別委員会の報告をいたします。

去る9月11日の本会議において、決算審査特別委員会に審査を付託されました認定第1号平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定について、認定第2号平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第3号平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第4号平成26年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第5号平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第6号平成26年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、認定第7号平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定についての7件については、9月11日、委員会を開き、14日、15日、16日の3日間にわたり、関係担当者の説明を聴取して慎重に審査を行いました。

審査の結果、認定第1号から認定第6号の平成26年度柴田町各種会計決算6件は、いずれもこれを認定すべきものと決定いたしました。認定第7号の平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算については、可決及び認定すべきものと決定いたしました。

なお、少数意見の留保はございませんでした。

以上、報告いたします。決算審査特別委員会委員長、水戸義裕。

○議長（加藤克明君） これより委員長報告に対する質疑に入りますが、議会運営基準により省略いたします。

これより討論に入ります。議案名を示して行ってください。討論ありませんか。

まず、原案反対の方の発言を許します。11番広沢真君。

[11番 広沢 真君 登壇]

○11番（広沢 真君） 11番広沢真です。

きのうから安保法制をめぐる国会での議論は大詰めというか、ぎりぎりの攻防が続いていて、混乱も続いています。私もきのうから国会に駆けつけたい気分を何とか抑えて粛々と討論に参加したいと思います。

私は、平成26年度一般会計決算に反対の立場で討論に参加します。

平成26年度一般会計決算を見ますと、国からの依存財源が減らされている方向にある中、財政比率を守る努力が続けられており、より自由度が低くなっている財政運営の中で、町民の要求要望に対して、できる限り応えようとしているその姿勢は理解できます。特に安全安心のまちづくりで雨水対策の事業、先日の大雨の被害のときにも町の工事のおかげで被害が軽減された地域が幾つもあります。そういう事業に取り組み、そして町民の実際の生活を守っているという点で、今の町の事業について大いに評価できると考えています。とにかく、ハード事業に偏りやすい町民の要求要望に対してもできる限り応えようとしている。そこは当然理解しています。

しかしながら、やはり町全体の発展を考える上で、私はまだ町でもできることがあるのではないかというふうに考えています。今回の反対討論は、この一般会計決算案の中身について、一つ一つの事業を挙げて、これが間違いだ、そういう指摘をする立場ではありません。もっと町にやっていただきたいというふうに考えることを述べて、そして来年度の予算に向けてはぜひとも考えていただきたいということによって反対の討論をしたいと思うんですが。

その大きな中身として、私が挙げたいのが、今の町の現状を見た場合に、特に個人商店などの衰退、地元の中小業者の経営のための苦労が引き続き続いていく中、くしの歯が欠けるように、少しずつ、少しずつお店がなくなっていることであります。

前から指摘していることではありますが、今、町長が進めておられる観光によるまちづくり、これ自体は、私も成果が上がってきているというふうに考えていますし、交流人口がふえているのも間違いありません。しかし、これからさらに町の発展を考える場合、そしてまた観光によるまちづくりを考えていく場合に、まちぐるみで観光客を迎えていく、そういった体制もまた必要なのではないのでしょうか。特に町の商店、観光客をお迎えするのに、やはりお土産を買っていただくこと、あるいは食べ物を食べていただくこと、それによって観光客をおもてなしすることができますし、そしてまた町の経済も潤うことになる。しかし、本来

受け皿になるべき商店や業者が、残念ながら、今のままでいけばどんどん衰退していく方向に歯どめがかかっていない。これもまた前に言った記憶がありますが、下手をすれば、柴田町が大手スーパーとコンビニしかない、そんな町に、極端に言えば、なりかねない部分もあります。

観光のまちづくりで、町長がよく引き合いに出されておられる長野県の小布施町、観光のまちづくりで大きく成功している町ですが、私も実際に小布施町に行って現地を目の当たりにしたとき、やはり感じたのが、地域ぐるみ、町ぐるみ、一体となって観光客をお出迎えしようという姿勢と、そしてまた、一つ一つの商店が元気なこと。それがまずは大きく印象に残った点であります。

やはり、10年、20年、さらに将来のことを考えて、町の発展を考えていく場合、柴田町と大河原町が将来消滅しないと言われている、そのことだけではなく、さらに発展するための施策を打つべきではないでしょうか。

これまで、私は町の商業の振興のためにリフォーム助成制度などを提唱してきました。実際に、一度は大きな効果も上げてきています。この商業振興策、リフォーム助成だけに限ったことではありません。何とか、町の商店、商工会、商店会、励まして、そして次につなげていく、そういった町の支援が求められるのではないのでしょうか。

先日、実は町長にぜひとも町の業者の声を聞いていただきたいというふうに思って、懇談の場を設定しようとしたのですが、町長のサイドは日程の調整に非常に努力していただきましたが、残念ながら、申し出たほうで日程の調整がつかずにご迷惑をおかけいたしました。しかしながら、これからもその活動を続けていきたいというふうに思いますし、さらには、例えば町の中で新たに起業しようという若者の支援、その若者の支援に対して町の独自策などもぜひとも実現していただきたい施策であります。

これから厳しい財政の中、ハード事業で、体育館を初め図書館など大型の建設事業、課題として課せられている中ではありますが、そういう町の総合的な発展も考えた上で、ハード事業にだけ目を向けるのではなく、当然、今もやっておられるとは思いますが、ソフト事業において、人材の育成、そしてまた商業の維持発展のためにぜひとも施策を、この決算の中身に含まれる以上の施策を、次に求めていきたいというふうに考えています。

以上のような理由から、来年度の平成28年度予算、そしてまた今後の平成27年度の残りの時間、ぜひとも今述べたような町の総合的な発展を考えたソフト事業にも手を出して、そして力を尽くしていただきたい。そのような要求要望も込めまして私の反対討論といたしま

す。

○議長（加藤克明君） 次に、原案賛成の方の発言を許します。10番佐々木守君。

〔10番 佐々木 守君 登壇〕

○10番（佐々木 守君） 10番佐々木守です。

ただいま議題となりました認定第1号平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定に対して、賛成の立場で討論いたします。

今回の認定では、特別決算委員会に審議を付託され、慎重に審議された結果を委員長より議長に報告されたとおりであります。

決算額では、歳入が133億8,722万9,420円、前年度比5.05%の増、歳出は132億2,594万5,616円で、6.24%の増となっています。歳入歳出の差引額であらわす形式収支は1億6,128万3,804円、平成27年度に繰り越すべき財源を除いた実質収支は1億277万5,634円となり、これが平成27年度へ繰り越される純繰越金となります。

収入では、町たばこ税等が減少したものの、個人町民税、固定資産税等の増加により、町税全体は対前年比1.1%の増となり、各種交付金のうち、地方消費税率の引き上げにより、対前年比22.8%の大幅な増となっております。地方交付税については、（仮称）仙南クリーンセンター建設に関連した震災復興特別交付税の増加等により、交付税臨時財政対策債の総額では35億1,583万3,000円となり、歳入全体の26.3%を占めています。臨時財政対策債6億1,640万円を含めた地方債は、対前年度比4億520万円増の16億8,120万円となりましたが、槻木小学校プール改築工事や地方道路等整備事業など、町の発展や町民生活にとって必要な大型プロジェクト事業の実施によるものです。

歳出では、がんばる地域交付金を活用し、槻木保育所ゆとり保育室増築工事、里山ガーデンハウス新築工事、船岡城跡公園を初めとする公園整備事業などに充当し、普通建設事業では、船迫小学校、西住小学校体育館照明改修工事を初め、住宅施策として北船岡町営住宅3号棟の工事に着手し、防災・安全資本整備交付事業としては、町道161号線ほか19路線の舗装工事を完了し、町道富沢16号線道路改良工事も進んでいます。船迫子どもセンターを昨年7月に、三名生児童館を11月に、新たな子育ての場として開館しました。

また、財政調整基金と町債等管理基金を合わせた平成26年度末の残高は16億1,000万円余となり、過去最高の額となりました。

形式的記載事項、決算計数はいずれも正確で誤りなく符号していることを監査委員の審査に付しています。このことから、原案どおり賛成するものです。

同僚議員の賛同をお願いいたします。

○議長（加藤克明君） ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（加藤克明君） これをもって討論を終結いたします。

これより採決を行います。採決は会計ごとに行います。

認定第1号平成26年度柴田町一般会計歳入歳出決算の認定についての採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（加藤克明君） 起立多数であります。よって、本案は認定されました。

認定第2号平成26年度柴田町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について、採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定するものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は認定されました。

認定第3号平成26年度柴田町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定するものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は認定されました。

認定第4号平成26年度柴田町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は認定されました。

認定第5号平成26年度柴田町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について、採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は認定されました。

認定第6号平成26年度柴田町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について、採決を行います。

この決算に対する委員長の報告は認定とするものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は認定されました。

認定第7号平成26年度柴田町水道事業会計未処分利益剰余金の処分及び決算の認定について、採決を行います。

この未処分利益剰余金の処分及び決算に対する委員長の報告は可決及び認定とするものです。

お諮りいたします。委員長の報告のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

[賛成者起立]

○議長（加藤克明君） 起立多数であります。よって、本案は可決及び認定されました。

日程第9 議発第1号 柴田町議会会議規則の一部を改正する規則

○議長（加藤克明君） 日程第9、議発第1号柴田町議会会議規則の一部を改正する規則を議題といたします。

提出者の趣旨説明を求めます。8番高橋たい子さんの登壇を許します。

[8番 高橋たい子君 登壇]

○8番（高橋たい子君） 8番高橋たい子です。

ただいま議題となりました議発第1号柴田町議会会議規則の一部を改正する規則についての提案理由を申し上げます。

第2条につきましては、議会における欠席の届け出の取り扱いに関して、社会情勢などを勘案し、出産の場合の届け出について新たに規定するもので、標準町村議会会議規則の改正に合わせ、柴田町議会会議規則を改正するものであります。

第101条につきましては、柴田町議会傍聴規則（平成18年柴田町議会規則第3号）第6条第

1項第1号において、議会の傍聴席への携帯を認めていないもののうち、杖については社会情勢などを勘案して削除する改正を行うことに伴い、柴田町議会会議規則でも同時に改正を行うものであります。

なお、施行期日は公布の日からといたします。

以上、同僚議員のご賛同をお願いいたします。

○議長（加藤克明君） これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（加藤克明君） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（加藤克明君） 討論なしと認めます。

これより議発第1号、柴田町議会会議規則の一部を改正する規則の採決を行います。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決することに賛成の諸君の起立を求めます。

〔賛成者起立〕

○議長（加藤克明君） 起立総員であります。よって、本案は原案のとおり可決されました。

日程第10 陳情第3号 外国人の扶養控除制度の見直しを求める意見書の採択を求める陳情

陳情第4号 「安全保障関連法案」の立憲主義に関する陳情

○議長（加藤克明君） 日程第10、陳情に入ります。

本定例会議の本日までに受理した陳情は、お手元に配付の陳情文書表のとおりであります。

議会運営委員会の協議により、報告のみの取り扱いといたします。

なお、要望等についてもお手元に配付いたしましたとおりであります。

常任委員会の休会中の活動予定の件について、連絡いたします。

総務、文教厚生、産業建設、議会広報の各常任委員長から本定例会議後の委員会活動願がお手元に配付いたしました内容で出されておりますので、ご承知願います。

これで本定例会議に付された事件は全て終了しました。

これで本日の会議を閉じますが、休会前に町長から挨拶の申し出がありますので、これを許します。町長。

〔町長 登壇〕

○町長（滝口 茂君） 議長にお許しをいただきましたので、平成27年度柴田町議会9月会議の終了するに当たりまして、一言御礼のご挨拶を申し上げさせていただきます。

まず、議会が無事終わる見通しが立った昨日から少し体調が回復してきました。議会当初は読み間違いやお聞き苦しい点がありましたこと、改めておわび申し上げます。

さて、9月7日の開会から本日まで11日間にわたり、本会議、決算特別委員会においてご審議を賜り、まことにありがとうございました。提案申し上げました人事案件3件、報告3件、議案12件、認定案7件の全てを原案のとおり可決承認及び同意の議決をいただきました。

本会議開会中の9月10日から11日の未明にかけまして宮城県全域に50年に一度と言われる大雨特別警報が発令されました。大雨の影響から、町内の大住町、下名生字剣水、剣塚地区を初めとする9地区で家屋の床上浸水が発生いたしました。幸い人的被害を出すこともなく、現在、被災家屋の畳、家電製品等の被害物資の運搬の支援に全力を挙げているところでございます。今さらながら、自然災害の驚異、猛威を痛感するところでございます。ご支援をいただき、協力をいただきました議員、区長初め町民の皆様にご改めて感謝申し上げます。

今後、さらに国・県とも連携しながら雨水対策を強力に推進するとともに、現在策定中の地域防災計画をさらに進化させるために、「局地的冠水対策マニュアル」、初めて聞くと思うんですが、私がちょっと考えましたんですが、「局地的冠水対策マニュアル」みたいなものを早急に作成し、安全安心の対策に努めてまいります。

今回の会議は、平成26年度の各種会計の決算会議でした。平成26年度の決算は、しばた千桜橋、北船岡町営住宅3号棟、町道富沢16号線道路改良工事、槻木小学校プール改築工事など大型プロジェクトがめじろ押しでした。しかし、国のがんばる地域交付金を初めとする国庫支出金を積極的に活用した結果、16億円を超える過去最高の積立額を確保することができました。結果として、財政健全化判断指標が改善されたのも、適切な判断をいただきました議員の皆様のおかげと改めて感謝申し上げます。

また、一般質問は11人、61項目の多岐多彩な内容の提案をいただきました。今回の一般質問では主に地方創生、いじめ問題、空き家対策、終末医療、介護在宅医療、全国学力調査結果など、各自治体に共通する課題がありまして、それに対するさまざまな議員の皆さんから提案をいただきました。さらには10月実施の運びとなりますマイナンバー制度の管理運営、さらにリスク管理と町民への情報提供についてもご意見をいただきました。一般質問で新たに提案されました事業等につきましては、真摯に受けとめ、今後の歳入の動向を見きわめながら、財政調整基金を活用させていただき、12月補正予算または平成28年度予算において対応をさせていた

だきたいと思います。

結びになりますが、来年度の町制施行60周年記念として、全国さくらサミットの債務負担行為補正の追加をお認めいただきましたので、早速その準備に入らせていただきたいと思います。花のまち柴田のさらなる魅力を国内外に発信し、交流人口の増加、さらに町民や商工会やNPOの活動人口の増加を図り、地域の元気おこしに結びつけ、柴田町の活性化を急いでまいりたいと思います。

今後とも、議員各位のご理解とご支援、ご協力をお願い申し上げまして、休会に当たりまして御礼のご挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。

○議長（加藤克明君） これをもって平成27年度柴田町議会9月会議を閉じます。

大変ご苦労さまでした。

午前10時02分 休 会

上記会議の経過は、事務局長平間雅博が記載したものであるが、その内容に相違ないことを証するためここに署名する。

平成27年9月17日

議 長

署名議員 番

署名議員 番